



能登半島地震 珠洲市と養父市の縁の象徴に

珠洲市でいただいた折り鶴を市内学校、市役所等で展示

能登半島地震被災地支援のため、市では1月から6月まで石川県珠洲市に移動式ランドリーを設置し、被災者の生活支援に取り組みました。

珠洲市の方から支援への感謝の気持ちとしていただいた折り鶴を両市の縁の象徴として市内の学校、市役所等に展示します。

地震発生から半年が経過しましたが、市は今後も息の長い支援を行い、復旧・復興支援に取り組みます。



いただいた折り鶴



養父市役所に展示している折り鶴

1月から行っていた移動式ランドリーによる被災地支援の状況を確認するため、当市市長・広瀬栄が6月15日に石川県珠洲市を訪問した際、市民の方が手折りした鶴（約50羽）をいただきました。鶴は全長約2センチメートルで、市民の方によると、養父市の支援に対する感謝が込められているということです。

市では、この折り鶴を支援が紡いだ両市の縁の象徴とするため、市内の小・中・義務教育学校、高等学校、市役所等に展示します。多くの方の目に留まる場所に展示することで、被災地に心を寄せ、復旧・復興支援の機会になることを期待しています。

1 展示場所 計22カ所

市内小学校 9校、中学校 4校、高等学校 3校

養父市役所、養父庁舎、大屋市民センター、関宮公民館、やぶ市民交流広場
全天候運動場

2 展示数 44羽（1カ所に2羽）

【問合せ】

経営企画部秘書課 課長 和田 久仁彦 電話 079-662-3168

危機管理室情報課 岩見 ちはる 電話 079-663-2600